

第3期

久留米市食料・農業・農村基本計画

【令和3年度実績報告・令和4年度実施計画】

「魅力ある農業都市・久留米の発展」



久留米市

1. 令和4年度久留米市予算の概要

久留米市の令和4年度の農林水産業予算は約40億円で、一般会計歳出予算約1,463億円の約2.7%を確保しています。

【久留米市一般会計予算 歳出】

	令和4年度 予算額
歳出予算合計	146,320 百万円
農林水産業費(全体予算比)	3,984 百万円 (2.7%)

【農林水産業費(目的別)】

区分		金額(千円)
1 農業費		3,832,988
	1 農業委員会費	131,689
	2 農業総務費	607,961
	3 農業振興費	1,179,225
	4 畜産業費	142,233
	5 農地費	1,242,685
	6 国土調査費	2,512
	7 農業開発費	526,683
2 林業費		148,715
	1 林業総務費	54,737
	2 林業振興費	93,978
3 水産業費		2,657
	1 水産業振興費	2,657
合計		3,984,360

【特別会計】

事業名	金額(千円)
4 卸売市場事業	390,000
11 農業集落排水事業	276,000

2. 第3期計画の施策体系

(1) 基本的な考え方 「市民みんなで参加する久留米の食と農」

(2) 全体目標 「魅力ある農業都市・久留米の発展」

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
農業産出額（農政課）	億円	325 (H29)	292 (R1)	286 (R2)				329 (R6)
認定農業者数（農政課）	経営体	868	841	847				900
認定農業者における法人の割合（農政課）	%	11.6	13.2	14.2				18.6
農業都市久留米の認知度 （農業の魅力促進課）	%	61 (R1)	—	34.2				70
農業都市久留米の愛着度 （農業の魅力促進課）	%	52.1 (R1)	—	53.7				60

(3) 5つの基本施策

条例の「食料」「農業」「農村」の各分野の基本理念を踏まえ、各基本施策を推進します。

また、国・県や農業団体等と連携するとともに、農業分野以外の関係団体等との連携や市民との協働の視点を意識しながら各事業を実施します。

基本施策	主要施策
基本施策Ⅰ 担い手の育成・確保と労働力の確保	1. 基幹的な担い手の経営力強化
	2. 将来の担い手の確保と育成
	3. 多様な人材の活用
基本施策Ⅱ 生産性・収益性の高い農業経営の実現	1. 米麦大豆、野菜、果樹、緑花木、花き、畜産の振興
	2. 効率的な生産体制の確立
	3. 安全で安定的な農産物の提供
基本施策Ⅲ 持続可能な生産基盤の確立	1. 生産基盤の整備と防災・減災対策の推進
	2. 農地の有効利用の促進
	3. 農業・農村の持つ多面的機能の発揮
基本施策Ⅳ 「農業都市・久留米」の理解促進	1. 「農業都市・久留米」の魅力発信によるブランド力向上
	2. 地産地消を通じた魅力発信
	3. 農業の公益的機能等の理解促進
基本施策Ⅴ 多様な農業への挑戦	1. 農業経営の多角化
	2. 農村地域の資源を活用した地域の活性化

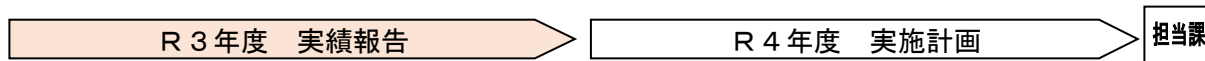
3. 施策ごとの「令和3年度実績報告」及び「令和4年度実施計画」

【基本施策Ⅰ】 担い手の育成・確保と労働力の確保

基幹的担い手である認定農業者や将来を担う青年就農者の確保と育成を図るとともに、農業生産力の維持・拡大のため、外国人材の活用や農福連携など、県や農業団体等と連携して、新たな労働力の確保に向けた取組を推進します。

1. 基幹的な担い手の経営力強化

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
農業収入 2 千万円以上の認定農業者の割合 (農政課)	%	43	47	49				57
認定農業者における女性の割合 (農政課)	%	6.5	6.5	6.4				10.0



①認定農業者等の経営力強化

<p>認定農業者の認定 新規認定者や再認定者の農業経営改善計画の作成支援を行った。 ・ R3 年度末 847 経営体 (前年+6) 新規認定 33 件、更新 151 件</p>	<p>認定農業者の認定 農業経営改善計画の作成支援や再認定の際にフォローアップを行うとともに、電子申請の活用など、申請の効率化を図る。</p>	農政課
<p>農業経営支援研修会 認定農業者や集落営農組織、関係機関を対象にオンライン研修会を開催した。 ・ 開催日：R4.2.24、参加者 21 人 ・ 基調講演 演題：「農業の人手不足は解消できる」 講師：YUIME 株式会社 取締役 江城 嘉一氏 ・ 研修 演題：「農福連携の概論」 講師：福岡県農福連携コーディネーター 三善 史博氏 (事業主体：市担い手育成総合支援協議会)</p>	<p>農業経営支援研修会 認定農業者等の経営力 (経営改善・知識の習得) 向上を図るため、農政情報の発信や農業経営の参考となる研修会等を開催する。 (事業主体：市担い手育成総合支援協議会)</p>	
<p>認定農業者協議会活動支援 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業活動が縮小されたが、地元農畜産物の PR 活動など、組織活動に対して支援を行った。</p>	<p>認定農業者協議会活動支援 認定農業者の組織活動を通じた研修会や消費者との交流事業に対して支援を行う。</p>	

②土地利用型農業の経営基盤強化

<p>集落営農法人化支援事業 集落営農組織が法人化する場合に係る登記や経理研修費用など法人設立時の初期費用を支援した。 ・ 補助実績：1 年目 1 組織、1,000 千円</p>	<p>集落営農法人化支援事業 集落営農組織が法人化する場合に係る登記や経理研修費用など法人設立時の初期費用を支援する。 ・ 補助額：1 年目 1,000 千円/組織 2・3 年目 500 千円/組織</p>	生産流通課
<p>法人経営力強化支援事業 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実績なし</p>	<p>法人経営力強化支援事業 法人経営における課題解決のため、税理士や社会保険労務士等による経営研修会等を開催する。</p>	

③女性農業者の人材育成

<p>女性農業者の経営参画支援</p> <p>●女性農林漁業者のための起業家育成塾 女性農林漁業者が自ら経営発展に取り組むため、商品開発や販路開拓に関する研修会、起業計画書の作成等を行う講座を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：全5回 ・参加者数：1名 (事業主体：福岡県) <p>●女性農業者向け研修会・交流会 女性農業者の経営参画に向けた意識向上を図るため、販路開拓等に関する研修会や、女性農村アドバイザー・OBによる交流会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：全3回（県事業） ・参加者数：延べ19名 (事業主体：県普及指導センター) 	<p>女性農業者の経営参画支援</p> <p>県の事業を活用し、女性農業者の経営発展や経営参画に向けた取組に対して支援を行う。</p>	農政課
<p>就農女性のネットワーク構築支援</p> <p>●女性青年農業者ステップアップ研修 これまで開催した講座の実践として、若手女性農業者グループ主催によるマルシェや講座開催等の自主活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青空マルシェ 開催回数：2回（R3.7.23、R3.7.31） ・お野菜教室（小学生とその保護者向けの講座） 開催日：R3.7.26 参加者：26人 (事業主体：久留米市農業振興協議会) 	<p>就農女性のネットワーク構築支援</p> <p>女性農業者の経営力向上やネットワーク構築を図るため、県普及指導センターやJAと連携し、若手女性農業者等を対象とした研修会・交流会を開催する。</p>	
<p>女性農業者の活動支援</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、女性農業者団体の活動が中止等となったため、実績なし。</p>	<p>女性農業者の活動支援</p> <p>女性農業者のグループが実施する研修会等の活動支援を行う。</p>	

④女性農業者が活躍できる環境整備

<p>女性認定農業者の推進</p> <p>女性認定農業者の増加促進を図るため、認定農業者の申請（更新）時に共同申請を促すとともに家族経営協定制度のチラシを配付するなど、周知・啓発に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度認定数 新規 3件（うち女性含む2件） 更新25件（うち女性含む3件） ・R3年度家族協定数 8件（うち女性含む8件） 	<p>女性認定農業者の推進</p> <p>女性の農業への参画を促す手段として、認定農業者の共同申請や家族経営協定の締結に向け、認定農業者・新規就農者の相談会や研修会等で周知・啓発を図る。</p>	農政課
<p>男女共同参画に向けた意識啓発</p> <p>各種協議会や農業表彰の推薦の依頼時に、各農業団体に対し、リーフレット等を使って男女共同参画の啓発を行った。</p>	<p>男女共同参画に向けた意識啓発</p> <p>各種協議会や農業団体等に対し、男女共同参画に向けた啓発を行う。</p>	

R 3 年度 実績報告	R 4 年度 実施計画	担当課
女性農業者の実態調査 女性の農業従事者に対し、女性農業者実態調査を実施した（原則として5年ごとに実施）。 ・調査対象者：女性農業者 200 人 ・回答率：63.0%（126 人）	女性農業者の実態調査 R3 年度に実施した、女性農業者実態調査の結果を活かし、女性農業者の活躍促進に向けた取組を図る。	農政課

2. 将来の担い手の確保と育成

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
経営開始5年目の農業収入1千万円以上の割合（農政課）	%	55.2	48.1	48.3				60

R 3 年度 実績報告	R 4 年度 実施計画	担当課
-------------	-------------	-----

①新規就農者の育成

農業次世代人材投資事業（経営開始型） 新規就農希望者の個々の状況に応じて就農へ向けたアドバイスや就農計画の作成支援、就農後の指導等を行った。 ・補助実績：37名（うちR3年度開始12名） 42,316千円	【新規】新規就農者育成総合対策 ●経営開始資金 国の事業を活用し、普及指導センターやJA、農業委員会等と連携を図りながら、新規就農者の就農直後 3 年間の経営確立を支援する。 ・補助額：最大 1,500 千円/年（国 10/10） ●経営発展支援事業 国の事業を活用し、新規就農者が初期投資として行う機械・施設等の導入を支援する。 ・補助対象事業費：最大 1,000 万円 ・補助率：国 1/2、県 1/4、本人 1/4	農政課
経営確立に向けた研修 新規就農者が早期に安定した農業経営を確立するための営農基礎講座を実施した。 ・第1回 開催日：R3.7.29 参加者5名 内容：肥料・農薬の基礎知識 ・第2回 開催日：R3.11.9 参加者5名 内容：葉物野菜の育苗方法と定植機械の紹介 ・第3回 開催日：R4.1.18 参加者7名 内容：損益計算書・貸借対照表の見方と青色申告の特典 ・第4回 開催日：R4.2.22（中止） 内容：肥料・農薬の基礎知識 （事業主体：市担い手育成総合支援協議会）	経営確立に向けた研修 新規就農者が早期に安定した農業経営を確立するため営農の基礎講座やネットワークの構築に向けた研修会等を開催する。	
【新規】経営継承・発展等支援事業 販路開拓や作業の効率化等を図るなど、経営発展を目指す農家の後継者に対し、事業に係る対象経費の一部を支援した。 ・補助実績：1 件、100 万円	経営継承・発展等支援事業 将来にわたって地域での農業を担う経営体を確保するため、農家の後継者が行う販路開拓や新品種の導入等の取組を支援する。 ・補助額：上限 1,000 千円（国 1/2、市 1/2）	

②青年農業者の活動支援

<p>4 Hクラブの活動支援 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業活動が縮小されたが、農産物の販売会実施など、組織活動に対して支援を行った。 ・補助実績：3団体、613千円</p>	<p>4 Hクラブの活動支援 若い青年農業者（概ね30歳未満）で組織する4 Hクラブの組織活動を通じた研修会や消費者との交流事業に対して支援を行う。</p>	農政課
<p>海外研修支援 新型コロナウイルス感染症の影響により、海外研修が中止となったため実績なし。</p>	<p>海外研修支援 海外研修に参加するチャレンジ精神旺盛な農業経営者を支援する。</p>	
<p>次世代のリーダー育成 若手農業者や後継者を対象に、農業経営力の向上を目的とした研修会を実施した。 ・第1回 開催日：R3.11.26 参加者：8名 内容：農薬、土づくりについて ・第2回 開催日：R3.9.27（中止） 内容：農薬について ・第3回 開催日：R4.1.25（中止） 内容：経営改善事例発表会 （事業主体：久留米市農業振興協議会）</p>	<p>次世代のリーダー育成 若手農業者や後継者を対象に、農業経営力の向上を目的とした研修を支援する。</p>	

③新規就農の促進

<p>就農相談 県普及指導センターやJAと連携して、就農相談を実施し、相談者の個々の状況に応じた就農へのアドバイスや各種事業の案内を行うとともに、青年等就農計画の作成支援を行った。 ・就農相談件数：169件（114人） ・認定新規就農者：12経営体</p>	<p>就農相談 県普及指導センターやJAと連携して、就農相談を実施するとともに青年等就農計画の作成に向けた支援を行う。</p>	農政課
<p>農業の魅力発信 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの多くが中止となり発信する場が少なかったが、オンラインでの就農相談会等の際に動画の配信を行い、本市農業や就農の魅力発信に努めた。</p>	<p>農業の魅力発信 本市で活躍している新規就農者や青年農業者、認定農業者、女性農業者等をSNSやホームページ等のWebで発信し、農業の魅力や久留米での就農の期待を高める。</p>	
<p>農業実践研修事業 本市で独立自営就農を目指す意欲ある者に対して、知識や技術の習得や地域農業者との関係構築を支援した。 ●農業実践研修支援事業費補助 研修生を受け入れる認定農業者等への支援 ・補助実績：8件（継続3件、新規5件） 1,398千円</p>	<p>農業実践研修事業 本市で独立自営就農を目指す意欲ある者に対して、知識や技術の習得や地域農業者との関係構築を支援する。 ●農業実践研修支援事業費補助 研修生を受け入れる認定農業者等への支援 ・補助額：30千円/月</p>	

R 3 年度 実績報告	R 4 年度 実施計画	担当課
<p>就農定着サポート事業 新規就農者の初期負担軽減を図るため、農業用機械や生産資材等の購入にかかる費用を支援した。 ・補助実績：2 件、1,400 千円</p>	<p>就農定着サポート事業 就農当初の負担軽減を図るため、農業用機械や生産資材等の購入に係る費用を支援する。 ・補助額：農業用機械 上限 500 千円 生産資材 上限 200 千円 ・補助率：1/2</p>	農政課

3. 多様な人材の活用

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
農作業の受託に新たに取り組む障害者就労継続支援事業所数 (農政課)	事業所	—	2	2				3

R 3 年度 実績報告	R 4 年度 実施計画	担当課
-------------	-------------	-----

①農福連携の推進

<p>県普及指導センターや JA、市障害者福祉課と連携し、先進事例の視察研修や農福連携の推進に向けた市内福祉事業所との意見交換会を実施した。 ・視察研修 日時：R3.11.19 視察先：福岡市、糸島市 ・意見交換会 日時：R4.1.20 参加者：8 事業所 (事業主体：農業振興協議会 雇用型 PJ)</p>	<p>県普及指導センターや JA と連携し、農業経営体の新たな人材確保として障害者就労支援事業所を対象とした研修会等を開催する。 (事業主体：農業振興協議会 雇用型 PJ)</p>	農政課
<p>【新規】障害者雇用理解促進事業 農家に対して、障害者雇用への理解を深めるため、法令や制度等の研修を行った。 ・実績 開催数：3 回 (R3.12.15、R4.1.13、2.24) 参加者：46 名 (3 回合計)</p>	<p>障害者雇用理解促進事業 障害者雇用に関する理解促進を図るため、農業者・農業団体等に対して法令や制度等に関する研修会等を開催する。</p>	農政課

②外国人材の活用

<p>外国人受入環境整備事業 外国人材の活用を検討している農業者を対象に個別相談会や研修会を実施した。 ・個別相談会 (福岡県行政書士会) 開催数：4 回(R4.1.13、1.27、2.3、2.9) 参加者：4 組 ・研修会 開催日：R4.3.19(土) 参加者：13 名 内容：「農業に関する外国人雇用セミナー」 ※オンラインセミナーのVTR上映 (事業主体：担い手育成総合支援協議会)</p>	<p>外国人受入環境整備事業 外国人材の活用を検討している農業者を対象に個別相談会や研修会を開催する。 (事業主体：担い手育成総合支援協議会)</p>	農政課
---	--	-----

R 3 年度 実績報告	R 4 年度 実施計画	担当課
<p>農業労働力確保緊急対策事業（コロナ） 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う入国制限等により、不足する労働力を確保するための取組を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在留資格変更(更新)手数料 補助率（額）：4,000 円/回 補助実績：45 件（対象外国人 102 名） ・在留資格変更に伴う賃金の掛かり増し経費 補助率（額）：上限 100 円/時間 補助実績：56 件（対象外国人 145 名） ・不足する労働力を補うための人材募集に係る経費 補助率（額）：上限 37,000 円 補助実績：8 件（事業主体：福岡県） 	<p>農業労働力確保緊急対策事業（コロナ） 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う入国制限等により、不足する労働力を確保するための取組を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在留資格変更(更新)手数料 補助率（額）：4,000 円/回 ・在留資格変更に伴う賃金の掛かり増し経費 補助率（額）：上限 100 円/時間 ・不足する労働力を補うための人材募集に係る経費 補助率（額）：上限 37,000 円 	農政課

【R 4 年度施策の方向性】

【基本施策 I】 担い手の育成・確保と労働力の確保（農政課・生産流通課）

農業を持続的に発展させていくためには、生産性と収益性が高く、効率的かつ安定的な農業経営体を育成・確保することが必要である。そのため、県や農業団体等と連携し、基幹的な担い手である認定農業者等の経営改善に向けた研修会の開催や農業の魅力発信による新規就農の促進、就農前から就農後の営農定着までのきめ細やかな支援を行っている。さらに、女性農業者の経営参画に向けた人材育成や意識啓発に取り組むとともに、不足する労働力を確保するため、外国人受入相談会や障害者雇用に関する研修会の開催などに取り組んでいく。

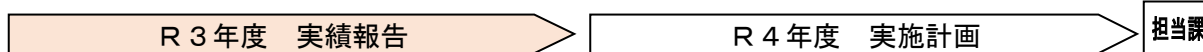
また、土地利用型農業の中心的な担い手である集落営農組織の安定的な経営は、水田農業を維持・発展していくためにも大変重要であり、集落営農組織の法人化や法人化後の経営基盤の強化に向けた税理士や社会保険労務士等による経営研修会、法人代表者同士の意見交換会などの取組を支援するとともに、高収益作物である野菜などの導入に取り組む農業者等を支援していく。

【基本施策Ⅱ】 生産性・収益性の高い農業経営の実現

競争力のある産地を育成し、高い生産力を維持するため、生産施設や機械等の導入を支援するとともに、少ない労働力で収益性の高い農業を目指し、低コストのスマート農業の導入を推進します。

1. 米麦大豆、野菜、果樹、緑花木、花き、畜産の振興

指標項目	単位	現状値(H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値(R7)
主要野菜の生産量 (生産流通課)	t	28,169	29,528	31,377				31,950



① 「米麦大豆」の振興

R3年度実績報告	R4年度実施計画	担当課
<p>経営所得安定対策事業 農業経営の安定を図るため、国の経営所得安定対策事業を活用し、需要に応じた米・麦・大豆等の生産を促進し、農業者等の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な交付金 畑作物の直接支払交付金（ゲタ） 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ） 水田活用の直接支払交付金（戦略作物・産地） （事業主体：久留米市水田農業推進協議会） <p>ふるさと農業活性化対策事業 競争力ある土地利用型農業の確立を図るため、生産組織の育成、環境負荷の低減、先導的技術導入、畑地への転換などに係る経費を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助実績： [ハード] 4件、485千円 [ソフト] 0件 	<p>経営所得安定対策事業 農業経営の安定を図るため、国の経営所得安定対策事業を活用し、需要に応じた米・麦・大豆等の生産を促進し、農業者の所得向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な交付金 畑作物の直接支払交付金（ゲタ） 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ） 水田活用の直接支払交付金（戦略作物・産地） （事業主体：久留米市水田農業推進協議会） <p>ふるさと農業活性化対策事業 競争力ある土地利用型農業の確立を図るため、生産組織の育成、環境負荷の低減、先導的技術導入、畑地への転換などに係る経費を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率： [ハード] 4/10 [ソフト] 1/2 	生産流通課

② 「野菜」の振興

<p>活力ある高収益型園芸産地育成事業 産地生産基盤パワーアップ事業</p> <p>●活力ある高収益型園芸産地育成事業 先進技術や省力機械・施設等の整備を進め、収益性が高い園芸産地の育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助実績：36件、197,746千円 (県179,610千円、市18,136千円) ・主な内容：パIPハウス及び附帯施設、播種・施肥用機械など <p>●産地生産基盤パワーアップ事業 高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助実績：19件、178,046千円 (国164,175千円、市13,871千円) ・主な内容：低コスト耐候性ハウス整備など 	<p>活力ある高収益型園芸産地育成事業 産地生産基盤パワーアップ事業</p> <p>県農林事務所やJAと連携し、野菜の生産量及び品質、収益向上を図るため、ハウスの整備や高性能省力機械の導入等に対して支援を行う。</p> <p>●活力ある高収益型園芸産地育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率：県1/2 又は1/3、市1/20 <p>●産地生産基盤パワーアップ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率：国1/2、市1/20 	生産流通課
---	--	-------

R 3 年度 実績報告	R 4 年度 実施計画	担当課
<p>●農業用ハウス湛水被害軽減対策事業費補事業【9月補正】 湛水リスクが高いエリアから、無いエリアへの農業用ハウスの移転に必要な経費、また浸水リスクの低いエリアにおいて、農業用ハウスへの浸水を防ぐために必要な排水ポンプや浸水防止壁の整備経費を助成した。 ・補助実績：9件、32,521千円 （県29,567千円、市2,954千円） ・主な内容：浸水防止壁、排水ポンプの設置、ハウス移転整備など</p>	<p>●農業用ハウス湛水被害軽減対策事業費補事業 湛水リスクが高いエリアから、無いエリアへの農業用ハウスの移転に必要な経費、また浸水リスクの低いエリアにおいて、農業用ハウスへの浸水を防ぐために必要な排水ポンプや浸水防止壁の整備経費を助成。 ・補助率：県 1/2 又は 1/3、市 1/20</p>	
<p>●園芸農業 DX 推進事業費補助金【6月補正】 コロナ禍での生産性向上を図るため、省力化や収量向上に取組み、スマート農業機械等の導入を推進した。 ・補助実績：4件、24,646千円 （県 22,790千円、市 1,856千円） ・主な内容：高性能省力機械の導入、流通加工施設の改修</p>	<p>●園芸農業 DX 推進事業費補助金 コロナ禍での生産性向上を図るため、省力化や収量向上に取組み、スマート農業機械等の導入を推進。 ・補助率：県 1/2、市 1/20</p>	
<p>被災園芸産地種苗等支援事業（災害）【9月補正】 大雨により被害を受けた農作物の種苗や資材等の購入、土砂撤去に要する経費について、県の事業を活用し支援を行った。 ・補助率：3年連続被災した農業者：県 3/10 上記以外：市 1/20 ・補助実績：5件（JA）、158,690千円 （県 153,339千円、市 5,351千円）</p>		生産流通課
<p>被災園芸農家経営安定緊急対策事業費補助金（災害）【9月補正】 3年連続被災した園芸農家に対し、今期の作付に要した経費相当額を支援した。また、今回の災害を契機に、収入保険への加入を促し、災害発生への備えを図った。 ・補助実績：136件、521,372千円 （県 473,980千円、市 47,392千円）</p>		
<p>園芸品目生産緊急支援事業費補助金（コロナ）【9月補正】 新型コロナウイルス感染拡大に伴う業務需要の低迷から、価格が下落した野菜等の再生産に係る必要な経費を支援した。 ・補助実績：462件、県 68,132千円</p>		

③「果樹」の振興

<p>活力ある高収益型園芸産地育成事業 先進技術や省力機械・施設等の整備を進め、収益性が高い園芸産地の育成を図った。 ・補助実績：7件、12,850千円 （県11,449千円、市1,401千円） ・主な内容：パイプハウス及び附帯施設、栽培管理用機械、予冷施設など</p>	<p>活力ある高収益型園芸産地育成事業 農林事務所やJAと連携し、果樹の生産量及び品質、収益向上を図るため、ハウスの整備や高性能省力機械の導入等に対して支援を行う。 ・補助率：県1/2 又は 1/3、市1/20</p>	生産流通課
--	--	-------

④「緑花木」の振興、⑤「花き」の振興

<p>商談会等出展支援 新型コロナウイルス感染症の影響で、想定していた商談会等が開催されなかったため、実績なし。</p>	<p>商談会等出展支援 展示会や見本市等に出展し、販路開拓に取り組む農業者等を支援する。 ・補助率：1/2（上限100千円）</p>	農業の魅力促進課
<p>生産団体等への支援 緑花木関連団体や花き生産・流通団体等が実施する生産技術向上のための研修会や、PRイベント等への取組に対して支援を行った。</p> <p>●植木花卉振興対策事業 ・補助実績：5団体、3,747千円 福岡県苗木農協、くるめ緑花木協同組合、久留米花卉園芸農協、久留米市花卉生産組合、久留米地域植木・花卉市場連絡協議会、田主丸町植木農協</p> <p>●地域特産物普及推進対策事業 ・補助実績：3団体、3,024千円 久留米つつじまつり実行委員会、久留米菊花振興会、福岡県苗木研究会</p> <p>●久留米産花卉のPR【新規】 令和3年11月20日に開催された道の駅くるめ大型屋根の落成式において、ステージの飾花を行い、式典後は同会場で開催された「久留米の食と農」魅力発信フェア会場内に設置し、PRを行った。 (久留米地域植木・花卉市場連絡協議会)</p> <p>●久留米地域若手生産者研究会 花き生産団体・流通団体や普及センター関係団体で組織する協議会等と連携し、栽培技術に関する研修会を開催した。 ・開催日：R4.1.29 参加者：9名 (JAくるめ管内2名、JAにじ管内6名、JAみい管内1名) (事業主体：久留米市農振協花き振興部会、三井地区農振協花き部会、JAにじ管内農振協花き・花き研究会)</p>	<p>生産団体等への支援 緑花木関連団体や花き生産・流通団体等が実施する生産技術向上のための研修会や、PRイベント等への取組に対して支援を行う。</p>	
<p>県産花き消費促進緊急支援事業（コロナ） 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う花きの需要低迷で影響を受けた久留米産花きの消費を促進するため、市内の公共施設等にフラワーアレンジメントを飾った。 ・実施期間及び実施施設（2か所） R3.12.7～12.14 久留米市役所 R4.2.3～2.10 石橋文化センター (事業実施主体：久留米市農振協花き振興部会)</p>		

R3年度 実績報告	R4年度 実施計画	担当課
<p>フラワーエール事業（コロナ） 新型コロナウイルスの影響を受け、消費が低迷している花きの需要を創出し、生産農家を支援するため、久留米産花きをワクチン接種会場及び学業に励む市内の小・中学校、高校等に贈った。 ・実施期間：R3.6.29～R3.10.22 ・送付個数：ワクチン接種会場 167個×2回 教育機関 86個×2回</p>	/	農業の魅力促進課

⑥「畜産」の振興

<p>優良乳用基礎雌牛導入事業 酪農経営における乳質、乳量の向上を図るため、優良雌牛・受精卵の導入に係る経費を支援した。 ・補助実績：1件、2,375千円 優良雌牛 20頭、受精卵 4個</p>	<p>優良乳用基礎雌牛導入事業 酪農経営における乳質、乳量の向上を図るため、優良雌牛・受精卵の導入に係る経費を支援する。 ・補助率：優良雌牛 1/5 受精卵 1/2</p>	生産流通課
<p>乳牛共進会事業 新型コロナウイルス感染症の影響により、共進会が中止となったため実績なし。</p>	<p>乳牛共進会事業 畜産技術の向上や後継者の育成を図るとともに、市民への畜産の理解促進や消費拡大を図るため、共進会の開催に係る経費を支援する。 ・補助率：1/2</p>	生産流通課
<p>酪農経営活性化推進事業 生産性の高い酪農経営を図るため、高度な経営や技術の指導、研修会等に対して支援を行った。 ・補助実績：1件、343千円</p>	<p>酪農経営活性化推進事業 生産性の高い酪農経営を図るため、高度な経営や技術の指導、研修会等を実施し、酪農経営の合理化、安定化を図る。 ・補助率：1/2</p>	生産流通課
<p>酪農ヘルパー利用組合強化対策事業 酪農経営における定期的な休日確保ができる体制の整備を促進するため、ヘルパー組合に対して支援を行った。 ・補助実績：1件、2,924千円</p>	<p>酪農ヘルパー利用組合強化対策事業 酪農経営における定期的な休日確保ができる体制の整備を促進するため、ヘルパー組合に対して支援を行う。 ・補助率：1/3</p>	生産流通課
<p>博多和牛ブランド強化対策事業（コロナ） 県産ブランド肉牛「博多和牛」の生産拡大と生産者の経営安定に資するため、もと牛（子牛）の購入経費に対して支援を行った。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により減少している博多和牛の出荷頭数の維持・増頭を図るため、補助要件を緩和。 ・補助実績：2件、頭数101頭、5,252千円</p>	<p>博多和牛ブランド強化対策事業 県産ブランド肉牛「博多和牛」の生産拡大と生産者の経営安定に資するため、もと牛（子牛）の購入経費に対して支援を行う。 ・補助率（額）：52千円/増頭数</p>	生産流通課
<p>緊急粗飼料確保支援事業（災害）【9月補正】 令和3年8月11日からの大雨により収穫後の粗飼料が流失、破損等した農業者に代替粗飼料の購入経費に対して支援を行った。 ・補助率：県 1/2、市 1/20 ・補助実績：2件、2,250千円 (県 1,659千円、市 591千円)</p>	/	生産流通課

2. 効率的な生産体制の確立

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
スマート農業に取り組む農 家数（生産流通課）	戸	3	21	32				21 (累計)

R 3 年度 実績報告	R 4 年度 実施計画	担当課
-------------	-------------	-----

①生産施設や機械等の導入支援

<p>水田農業担い手機械導入事業 土地利用型農作物の品質向上や低コスト生産を図り、売れる土地利用型農作物づくりと併せ生産コストの低減に取り組む営農組織の育成に要する経費を支援した。 ・補助実績：13件、44,031千円 (県29,349千円、市14,682千円) ・内容：土地利用型農業のトラクター、コンバイン、田植機、乗用管理機等</p>	<p>水田農業担い手機械導入事業 土地利用型農作物の品質向上や低コスト生産を図り、売れる土地利用型農作物づくりと併せ生産コストの低減に取り組む営農組織の育成に要する経費を支援する。 ・補助率：県1/3、市1/6</p>	生産流通課
<p>水田農業 DX 農業推進事業【6月補正】 県の事業を活用し、経営規模の拡大・省力化・所得向上を図るため、ICT 技術を活用したスマート農業機械の導入に要する経費を支援した。 ・補助率：県 1/3、市 1/6 ・補助実績：4 件、17,157 千円 (県 11,436 千円、市 5,721 千円)</p>	<p>水田農業 DX 農業推進事業 県の事業を活用し、経営規模の拡大・省力化・所得向上を図るため、ICT 技術を活用したスマート農業機械の導入に要する経費を支援する。 ・補助率：県 1/3、市 1/6</p>	
<p>活力ある高収益型園芸産地育成事業 産地生産基盤パワーアップ事業（再掲） ●活力ある高収益型園芸産地育成事業 先進技術や省力機械・施設等の整備を進め、収益性が高い園芸産地の育成を図った。 ・補助実績：43件、210,596千円 (県191,059千円、市19,537千円) ・主な内容：パイプハウス及び付帯施設、播種・施肥用機械など ●産地生産基盤パワーアップ事業 高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組を支援した。 ・補助実績：19件、178,046千円 (国164,175千円、市13,871千円) ・主な内容：低コスト耐候性ハウス整備など</p>	<p>活力ある高収益型園芸産地育成事業 産地生産基盤パワーアップ事業（再掲） 県農林事務所や JA と連携し、野菜の生産量及び品質、収益向上を図るため、ハウスの整備や高性能省力機械の導入等に対して支援を行う。 ●活力ある高収益型園芸産地育成事業 ・補助率：県1/2 又は1/3、市1/20 ●産地生産基盤パワーアップ事業 ・補助率：国1/2、市1/20</p>	
<p>ふくおかの畜産競争力強化対策事業 畜産農家の飼養規模拡大や畜産物の生産量増加を図るため、畜舎や飼養管理機械等の整備に対して支援を行った。 ・補助実績：11件、23,433千円 (県21,304千円、市2,129千円)</p>	<p>ふくおかの畜産競争力強化対策事業 畜産農家の飼養規模拡大や畜産物の生産量増加を図るため、畜舎や飼養管理機械等の整備に対して支援を行う。 ・補助率：県1/2 又は1/3、市1/20</p>	

R 3 年度 実績報告	R 4 年度 実施計画	担当課
<p>農業機械・施設災害復旧支援事業（災害） 大雨により被災したハウス施設や農業用機械の再取得、修繕等に係る経費を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設復旧 補助率：国 3/10、県 5/10 ・機械復旧 補助率：国 5/10、市 3/10 ・災害回避 補助率：県 5/10、市 3/10 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">繰り越し事業</div>	生産流通課
<p>畜産業機械・施設災害復旧支援事業（災害） 大雨により被災した畜産施設の再取得や修繕費等に要する経費を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設復旧 補助率：国 3/10、県 5/10 ・機械復旧 補助率：国 5/10、市 3/10 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">繰り越し事業</div>	
<p>制度資金の利子補給 機械等を導入する場合に活用する農業経営体育成資金（スーパーL）や、災害復旧等に対する制度資金に対し、利子の助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業経営体育成資金（L資金） 補助実績：16件、255千円 (県 127千円、128千円) ・災害復旧資金 補助実績：1件、2千円 ・稲作経営安定資金 補助実績：3件、2千円 	<p>制度資金の利子補給 農業経営体育成資金（スーパーL）や農業近代化資金、災害復旧等に対する制度資金について、利子の助成を行う。</p>	農政課

3. 安全で安定的な農産物の提供

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
GAP を取得した農業団体等の数（生産流通課）	団体	6	6	6				12 (累計)
有害鳥獣による農産物被害額（農村森林整備課）	千円	36,755	38,981	48,382				33,080

R 3 年度 実績報告	R 4 年度 実施計画	担当課
<p>GAP 推進事業 食品安全、環境保全、労働安全等を考慮した生産工程管理の取り組みであるGAPの認証取得等に係る費用を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助実績：[県GAP] 1件、105千円 	<p>GAP 推進事業 食品安全、環境保全、労働安全等を考慮した生産工程管理の取組である GAP の認証取得等に係る費用を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率：1/2（上限 500 千円） 	生産流通課
<p>環境保全型農業直接支払事業 環境保全に効果の高い営農活動（カバークロップ、堆肥の施用、有機農業）に対して支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助実績：11件、7,003千円 	<p>環境保全型農業直接支払事業 化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率：国1/2、県1/4、市1/4 	

R 3 年度 実績報告	R 4 年度 実施計画	担当課
<p>久留米産農産物の安全性向上事業</p> <p>●農薬安全使用対策協議会支援事業費補助金 市、県、JAで組織する農薬対策協議会における農薬安全使用に係る取り組みを支援する。 (事業主体：各地域農薬安全使用対策会議) ・補助実績：4件、1,820千円</p> <p>●残留農薬自主検査支援事業費補助金 JA、出荷組合・団体、認定農業者等が新たに実施する残留農薬自主検査への取り組みを支援した。 ・補助実績：183件、1,830千円</p>	<p>久留米産農産物の安全性向上事業</p> <p>●残留農薬自主検査支援事業費補助金 JA、出荷組合・団体、認定農業者等が新たに実施する残留農薬自主検査への取り組みを支援する。 ・補助率：上限1万円(検査1件当たり)</p>	生産流通課

②安定的な農産物の生産

<p>災害回避に向けた啓発・促進 活力ある高収益型園芸産地育成事業の活用などを通して、災害回避に向けた啓発・促進に取り組んだ。</p>	<p>災害回避に向けた啓発・促進 県の事業を活用し、浸水防止壁の設置等に対する支援を行うなど、災害回避に向けた啓発・促進に取り組む。</p>	生産流通課
<p>野菜価格安定対策事業 野菜の生産が、自然環境などの影響で市場価格が大きく下落した場合に補填を行った。</p> <p>●特定野菜等供給産地育成価格差補給事業 ・資金造成割合：国1/3、県1/3、市1/15、生産者4/15 ・対象：JAくるめ(いちご)、JAみい(春菊、三つ葉、ニラ、水菜)、JA福岡大城(アスパラガス)</p> <p>●野菜生産出荷安定事業 ・資金造成割合：県4/10、市1/10、JA 1/10 生産者4/10 ・対象：JAくるめ(葉ねぎ)、JAにじ(いちご)、JAみい(ほうれん草、青ネギ、小松菜)、JA福岡大城(青ネギ、いちご)、JAみづま(いちご) (事業主体：ふくおか園芸農業振興協会)</p>	<p>野菜価格安定対策事業 国の事業を活用し、野菜の生産が、自然環境などの影響で市場価格が大きく下落した場合に補填を行う。</p> <p>●特定野菜等供給産地育成価格差補給事業 ・資金造成割合：国1/3、県1/3、市1/15、生産者4/15</p> <p>●野菜生産出荷安定事業 ・資金造成割合：県4/10、市1/10、JA 1/10、生産者4/10 (事業主体：ふくおか園芸農業振興協会)</p>	
<p>農業共済への加入促進 収量減少、自然災害などのリスクに対し農業者自ら備えるよう、補助事業実施者等に対し加入促進に努めた。</p>	<p>農業共済への加入促進 収量減少、自然災害などのリスクに対し農業者自ら備えるよう、加入啓発・促進に取り組む。</p>	
<p>収入保険加入促進事業 収量減少、自然災害などのリスクに対し農業者自ら備えるよう、加入促進に向けた支援を実施した。 ・事業実施主体 福岡県農業共済組合 ・支援実績 407経営体、8,712千円</p>	<p>収入保険加入促進事業 収量減少、自然災害などのリスクに対し農業者自ら備えるよう、加入促進に向けた支援を実施する。 ・事業実施主体 福岡県農業共済組合</p>	

③有害鳥獣広域防除対策事業

<p>有害鳥獣広域防除対策協議会 久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会による侵入防止柵の設置や捕獲活動を支援した。</p> <p>●有害鳥獣広域防除対策協議会補助 事業費：5,416千円（市補助4,530千円） ・主な捕獲実績：イノシシ129頭 カラス484羽</p> <p>●鳥獣被害防止総合対策整備事業 事業費2,779千円（国補助2,779千円） 事業内容：電気柵 6戸 950m ワイヤ柵 18戸 2,735m</p>	<p>有害鳥獣広域防除対策協議会 久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会による侵入防止柵の設置や捕獲活動を支援する。</p> <p>●有害鳥獣広域防除対策協議会補助 事業費：6,974千円（市補助4,530千円）</p> <p>●鳥獣被害防止総合対策整備事業 事業費11,858千円（国補助11,856千円） 事業内容：電気柵 8戸 4,070m ワイヤ柵 21戸 7,120m</p>	<p>農村森林整備課</p>
<p>鳥獣被害対策実施隊 鳥獣被害対策実施隊により、市内全域において農作物被害防止のために、侵入防止柵の設置指導や生息調査、被害調査等及び緊急捕獲を行った。</p> <p>・被害調査件数：49件</p>	<p>鳥獣被害対策実施隊 鳥獣被害対策実施隊により、市内全域において農作物被害防止のために、侵入防止柵の設置指導や生息調査、被害調査等及び緊急捕獲を行う。</p>	

④卸売市場の施設整備

<p>主な改修工事 青果部事務所棟空調設備改修工事 （事業費 33,465千円） 青果部低温倉庫シートシャッター改修工事 （事業費 23,942千円） 新物流センター冷蔵庫冷却機改修工事 （事業費 22,697千円）</p>	<p>主な改修工事 水産物部事務所棟外壁改修工事 （予算 19,764千円） 青果部事務所棟屋根笠木の防水工事 （予算 40,315千円） 青果部事務所棟空調設備改修工事 （予算 15,523千円） 青果部防火シャッター改修工事 （予算 19,752千円）</p>	<p>中央卸売市場</p>
---	---	---------------

【R 4 年度施策の方向性】

<p>基本施策Ⅱ】 生産性・収益性の高い農業経営の実現（農業の魅力促進課・生産流通課・農村森林整備課）</p>
<p>《生産振興の強化》 土地利用型農業においては、生産農家の経営安定を図るために、国の経営所得安定対策等を活用し、米・麦・大豆・飼料用米等の生産を支援するとともに、需要に応じた米の生産を図っていく。 また、収益性の高い農業を推進するため、国・県事業を積極的に活用し、農業機械の導入や施設整備への支援を行うとともに、ICT 技術を活用したスマート農業を推進し、経営規模の拡大・省力化を進め、生産者の所得向上を図っていく。 さらには、花きや緑花木の持つ癒しや魅力の情報発信に取り組み、各生産団体が行う販路拡大や栽培技術の向上に資する取組に対して、引き続き支援を行い、生産振興を図っていく。</p> <p>《安全で安定的な農産物の提供》 市内の農産物をイノシシ・ドバト・カラス等の被害から守るため、農業生産者や猟友会、市で構成された「久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会」で有害鳥獣からの適正な防除やその駆除を実施する。 また、久留米産農産物の安心・安全に係る取組を強化するため、農業団体や県・市で構成された「農薬安全使用対策協議会」等が取り組む農薬安全使用講習会の開催を支援するとともに、農業団体や生産者等が行う残留農薬の自主検査等の取組を支援していく。</p>